



# 奈良県感染症情報

令和4年 第22週(5月30日～6月5日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- 5月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.21	(4.88)	↑	↗	↑	↗↗
2	突発性発しん	0.38	(0.24)	↑	↑	→	↓
3	RSウイルス感染症	0.32	(0.50)	↗↗	↗↗	↗↗	↓
4	咽頭結膜熱	0.29	(0.24)	↑	↗↗	↗	↓
5	手足口病	0.15	(0.12)	↑	↗↗	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗↗急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第22週の新型コロナウイルス新規感染者数は1060名と、第21週の1604名より減少していますが、今後の感染状況について引き続き注視が必要です。県民の皆様には、マスクの正しい着用、手指衛生、換気など感染対策をお願いいたします。

## ◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

感染性胃腸炎の報告が増えています。感染性胃腸炎はウイルスや細菌、寄生虫などの病原体により引き起こされます。夏場は食品が傷みやすく細菌が繁殖しやすくなりますので、調理前後の手洗いや食品の加熱を徹底しましょう。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(田中小児科医院)

感染性胃腸炎が多い。検査を実施した例にノロ、アデノの陽性例はなかった。

学童の流行性耳下腺炎があった。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

鼻水・咳嗽の軽度感冒例が主。発熱例、Covid19陽性例は減少した。

感染性腸炎も減少傾向。コロナ以前に見られていたヘルパンギーナ等の夏風邪も少ない。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

アデノウイルス腸炎が急増している。一部保育所は園児の半数で腸炎症状がでている。主に下痢が中心だが、遷延傾向もある。

またアデノウイルス咽頭炎も多くみられている。

新型コロナウイルス感染症対策  
**子どものマスク着用について**  
 人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めています。

### 就学児について

(小学校から高校段階)

### マスク着用の必要がない場面

- 屋外**
  - 人との距離が確保できる場合
  - 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
  - 例> 離れて行う運動や移動
  - 例> 鬼ごっこなど密にならない外遊び
  - 例> 屋外で行う教育活動(自然観察・雪生活動等)
- 屋内**
  - 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
  - 例> 個人で行う読書や調べたりの学習

### 学校生活

屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際にはマスクを着用することを推奨します。また、屋内での活動時には、自然観察や雪生活動等を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を講ずる必要があります。

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

### 保育所・認定こども園・幼稚園等の就学前児について

- 2歳未満**  
マスクの着用は推奨しません。
- 2歳以上の就学前の子ども**  
他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めています。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

夏の熱中症対策  
 ▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要な場面では、マスクを外すことを推奨します。  
 ▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。  
 ※その他感染対策については、詳しくは以下のリンク先をご覧ください。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 22 週 5 月 30 日 ~ 6 月 5 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ							
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	11 (0.32)		10 (1.11)		1 (0.17)		
咽頭結膜熱	10 (0.29)	2 (0.22)	3 (0.33)	2 (0.29)	3 (0.50)		
A群溶連菌咽頭炎	3 (0.09)		2 (0.22)		1 (0.17)		
感染性胃腸炎	211 (6.21)	50 (5.56)	35 (3.89)	29 (4.14)	84 (14.00)	13 (4.33)	
水痘							
手足口病	5 (0.15)		3 (0.33)	2 (0.29)			
伝染性紅斑							
突発性発しん	13 (0.38)	4 (0.44)	4 (0.44)	3 (0.43)	2 (0.33)		
ヘルパンギーナ	1 (0.03)		1 (0.11)				
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	2 (0.22)		1 (0.14)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	5 (0.50)			5 (2.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市1、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(中和1)
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	アメーバ赤痢1件(中和1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 梅毒2件(郡山1、中和1)

❖ 第22週のトピックス ❖

◆日本の予防接種スケジュール(国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/schedule.html>

◆第86回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和4年6月1日)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00348.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00348.html)

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

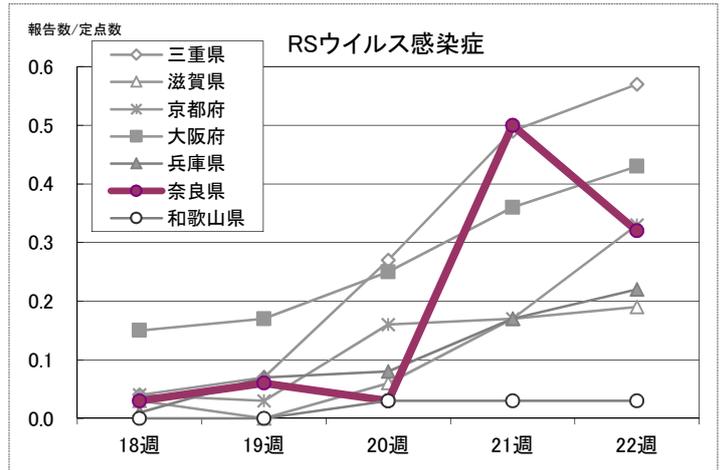
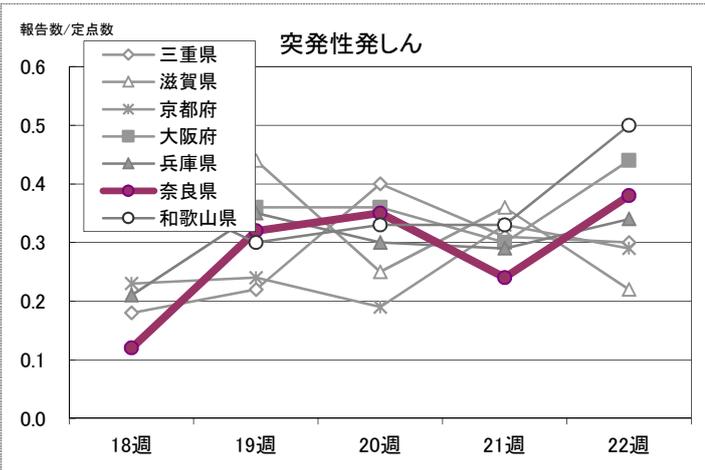
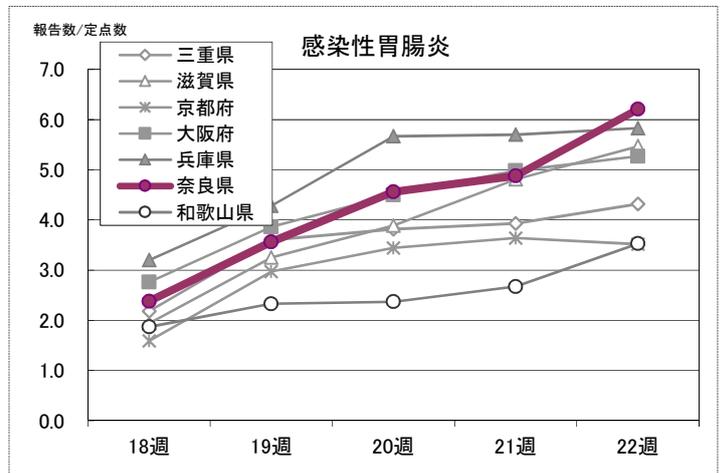
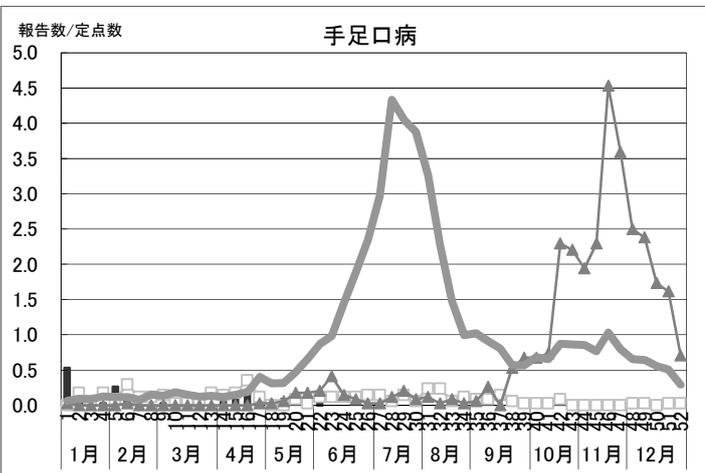
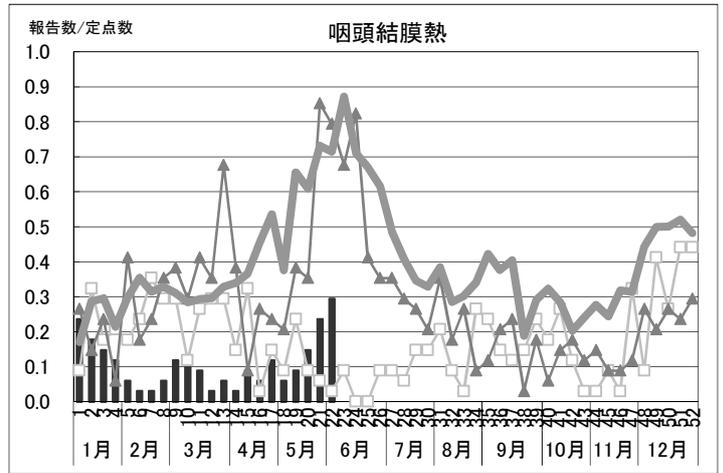
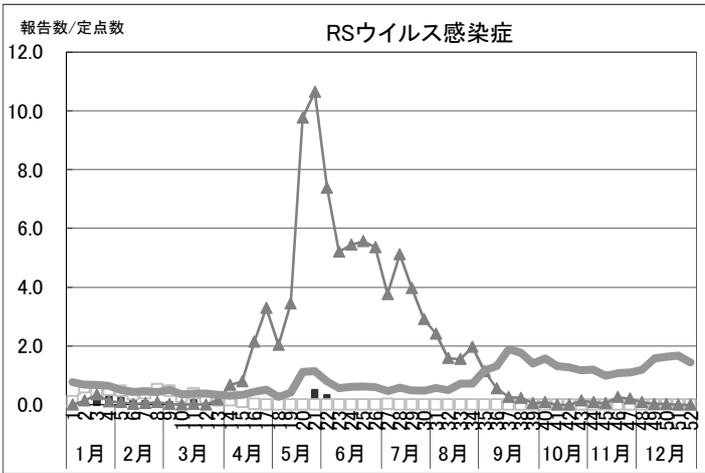
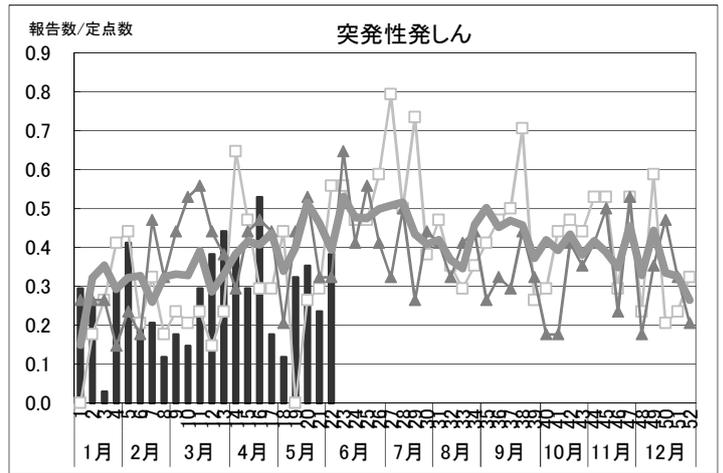
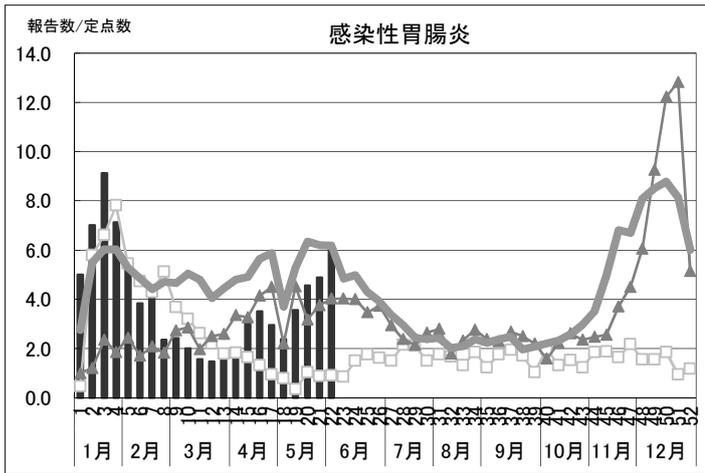
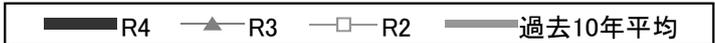
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																							
RSウイルス感染症	男女		1	2	1	1																	6	46
咽頭結膜熱	男女		1	4	1			1															4	52
A群溶連菌咽頭炎	男女			1	1	1																	1	65
感染性胃腸炎	男女	1	9	23	16	16	12	11	4	4	3	2	8		6							115	1526	
水痘	男女		7	23	10	14	8	6	2	8	2	2	7		7							96	1400	
手足口病	男女				1																	1	38	
伝染性紅斑	男女				1	2									1							4	35	
突発性発しん	男女		2	3				1														6	111	
ヘルパンギーナ	男女		3	3	1																	7	95	
流行性耳下腺炎	男女				1								1									2	5	
急性出血性結膜炎	男女																							
流行性角結膜炎	男女			1									1		1							3	26	
細菌性髄膜炎	男女																							
無菌性髄膜炎	男女																							2
マイコプラズマ肺炎	男女																							1
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 5 月

	奈良県		北部		中部		南部		上段：報告数 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数													累計は、2022年1月からの累計				
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計		
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0																				
性器クラミジア感染症	23 (2.09)	2 (0.67)	14 (4.67)	1 (0.50)	6 (2.00)	...	男							7	2		1		1						11	40
						...	女				1	9		1		1								12	55	
性器ヘルペス	7 (0.64)	2 (0.67)			5 (1.67)	...	男									2	1								3	26
						...	女												1						7	26
尖圭コンジローマ	2 (0.18)		1 (0.33)		1 (0.33)	...	男												1						1	6
						...	女													1					1	9
淋菌感染症	5 (0.45)	1 (0.33)	4 (1.33)			...	男						1	1	1									3	20	
						...	女					1			1									2	9	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	37 (6.17)	13 (13.00)	10 (5.00)	5 (5.00)	9 (9.00)		男	2		1				1			1		1				5	15	26	101
							女		1		1			1									1	7	11	55
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1 (0.17)		1 (0.50)				男												1						1	1
							女																			
薬剤耐性緑膿菌感染症							男																			
							女																			

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

